

トピックス 小中学校へのエアコン設置、早期実現を!

千葉市ではこれまで、大規模改造や外壁改修などの老朽化対策とトイレ改修(洋式化)を優先し、エアコンについては、窓を閉め切りにして授業や部活動を行わなければならない音楽室や特別支援学級に優先的に設置を進めてきました。(昨年度に中学校が完了し、今年度から4年間で小学校へ設置する予定でした。)また、普通教室への設置については、既に学校教育審議会に諮問しており、その答申を受けて検討することとなっております。



エアコン設置について市長と懇談(2018年8月)

しかしながら、今年の猛暑は災害にも匹敵するような暑さであり、こうした状況が今後も続くことが予測されることから、普通教室への設置を急ぐべきと訴えてまいりました。

その結果、先の議会では、今夏の猛暑や文科省による学校環境衛生基準の変更、学校教育審議会の議論状況を総合的に判断し、普通教室へのエアコン導入に向けた具体の計画策定のための補正予算が計上されました。

全市で166校、約2,400教室に及ぶ規模であり、2020年度の完了が目標とされておりますが、可能な限りの前倒しがなされるよう、全力を尽くしてまいります。

JR蘇我駅など市内の全駅前広場にベンチを整備



私自身、これまで多くの市民の皆さまから要望を頂き、駅前広場やバス停・道路など、まち全体へのベンチ整備を求めてきました。(昨年には、神戸市の事例を引き議会質問も行いました。)

先の議会における我が会派の代表質問で再び取り上げたところ、「今年度末を目標に、駅前広場と道路へのベンチ設置計画を策定する予定である。」



神戸市の街中に設置されたベンチ

駅前広場への設置については、今年度、JR蘇我駅の東口、西口駅前広場にベンチを設置する社会実験を行い、最適なベンチ設置位置の検証を行ったうえで計画に反映していく。」「バス停への設置については、バス事業者や自治会への整備に関する支援制度を検討していく。」「道路への設置については、休憩需要や歩道の有効幅員を考慮したうえで、順次整備していく。」との答弁がありました。

なお、整備にあたっては、広告収入や寄附など民間活力を活用した手法も検討していくようになります。今後の展開にご期待下さい。

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

酒井 伸二

Tel/Fax.043-268-7120

ホームページは「酒井伸二」で検索ください! <http://www.facebook.com/sakai.cc> e-mail:sakai_chiba@ko-mail.jp



千葉市のWi-Fi環境が充実!

Wi-Fiは、通信環境を気にせず安心してインターネットに接続でき、ネット利用者や訪日外国人からのニーズが高いのみならず、災害時でもアクセスしやすいことから、非常時の有効な通信手段にもなります。公共施設や集客施設を中心に整備を進める自治体が広がるなか、オリンピック・パラリンピックの競技開催都市として、更なる充実が図られるよう課題提起し、拡充を求めてまいりました。

全国政令市の無料Wi-Fi



全公民館で利用可能に!

本年4月以降、全ての公民館(47館)で整備されるなど、現時点で中央図書館を含む60箇所の公共施設で利用可能となっております。また、中心市街地においては、民間主導による「おもてなしWi-Fi」の普及など、Wi-Fi環境の整備促進策が進められております。

「ちばCity Wi-Fi」導入へ!

全国の政令市では、右図のように、その都市の名を冠した「City Wi-Fi」が実に16/20都市導入されております。昨年来、千葉市においても同様の取り組みを求めてきたところ、先の議会質問で「利便性向上を図る最適な手法を検討していく」との前向きな答弁がありました。近い将来に実現すべく、引き続き取り組んでまいります。今後の展開にご注目下さい!

避難所(小中学校など)へのWi-Fi導入は2020年!

大規模災害発生時に避難者が安否情報や支援情報などを速やかに収集・伝達できるようにするため、避難所へのWi-Fi設置は今や必須課題であります。今回の議会質問で問うたところ、「現在、避難所274箇所のうち、公民館及びコミュニティセンターなど計56箇所に整備され、災害時は避難者に開放される。小中学校等の避難所168箇所については、2020年1月に環境整備することを予定している。その他の50箇所についても、整備手法等の検討を進めていく。」との答弁を得ました。快適、そして暮らしの安全・安心へ。これからも市民目線の施策が充実するよう、努力してまいります。

去る9月27日、千葉市議会「平成30年第三回定例会」において、一般質問を行いました。ぜひご覧ください!

■アドレスは以下の通り。

www.chiba-city.stream.jfit.co.jp

議員名「酒井伸二」で検索ください!

第3回定例会で
一般質問!



市政における先端ICTの活用を!



政府は、技術革新・イノベーションが開く未来社会をソサエティ5.0と呼んでおります。これまでの人類社会の歩みを、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会と定義した上で、それに続く5番目の新しい社会として位置付けたもので、IoTやロボット、AI、ビッグデータといった先端技術を産業や生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していくというものであります。あらゆるものがインターネットでつながり、今までにない新しい価値が生まれるとして、交通・輸送、医療・介護、農業、防災・減災といった分野での成長が期待されております。

そんな近未来社会も見据えながら、日々進歩するICTを有効に活用し、行政サービスの向上に努めることは、現代の自治体運営において重要な課題であります。また、今の子どもたちが社会で活躍する頃には、AIなどは私たちの暮らしの中で欠かせない存在となっていることは間違いありません。ICTとの付き合い方はいかにあるべきか?といった視点も含め、千葉市の取り組みを伺いました。

◆新たなプッシュ通知システム

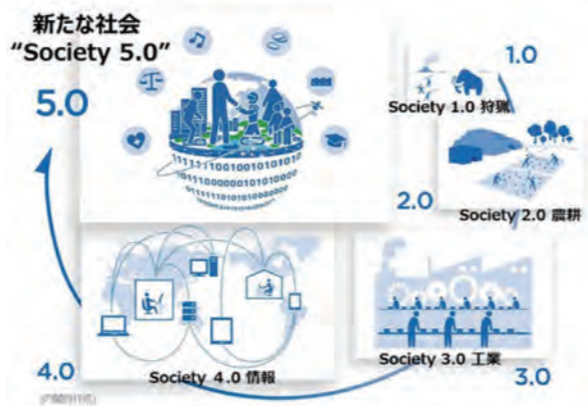
千葉市で検討中の新たな取り組みについて問うたところ、「様々な行政サービスについて、市民の皆さまが問い合わせしなくてもそれぞれに合ったサービスをお知らせし、受給もれ等を防ぐ仕組みの検討を行っており、2020年のサービス開始を目指している。」との答弁を得ました。なお、通知方法は「LINE 等のアプリとの連携を検討している」とのことでした。

◆AI、ビッグデータの活用について

先端ICTの活用に関する現状と今後について問うたところ、「H29年度から、防災分野におけるSNSデータのAIによる解析等を検証する社会実装推進事業に参画している。今後は、ヘルプデスク業務や議事録作成などの内部事務における活用を視野に入れている。」との答弁を得ました。

◆AI時代を見据えた今後の教育のあり方について

今後の教育のあり方について問うとともに、昨今のネット被害やネット依存を踏まえた、情報モラル教育の取り組みについて伺いました。当局からは「社会の変化に柔軟かつ主体的に関わる子どもたちの育成が大切。2020年のシステム更新に合わせ、協働型・双方向型の授業や個々の能力・特性に応じた学習を積極的に推進していく。また、問題の認識・把握・解決・修正の一連の活動が自力で行えるよう、情報活用能力の更なる育成を視野に入れた取り組みを検討していく。」との答弁を得ました。



COLUMN

AI時代の家庭教育のあり方は?...

「Alvs.教科書が読めない子どもたち」の著者で、国立情報学研究所の新井紀子教授は「AIが不得意な分野の学習に、より力を注ぐべきである」とし、読解力を高める必要性を訴えておられます。

例えば家庭での関わり方として大きく3点、①ゲーム、テレビなどデジタルな遊びは減らし“五感を耕す体験を積むこと”(人間ならではの五感で世界を捉える能力を伸ばす)、②多様な大人の中で過ごすこと(多様な大人が集まるコミュニティに子どもと一緒に参加することで、語彙を習得)、③疑問は(すぐに答えを出さずに)一緒に考えること(なぜその答えになるのかのプロセスを理解できるかが、生きる力の差になる)、をあげられております。これからの時代、こうした視点を広く子育て家庭に浸透させていくことも、重要な取り組みではないでしょうか。

パラスポーツの振興を!



◆推進組織の設置が遂に実現へ!

千葉市では、多くの政令市に設置されている障害者スポーツ協会が存在しないことから、市内の活動団体の実態把握すらできていない状況にあります。これを問題視し、H26年以降、3度にわたり議会質問で「練習場所の確保や指導者の育成を初め、関連団体の声を的確に把握するためにも、障害者スポーツ協会の設立を進めるべきである」と訴えてまいりました。(当時の状況は右表の通り)

今回、オリパラ開催まで2年を切ったなかで、改めてその後の状況を問うたところ、「パラスポーツの推進組織については、千葉市体育協会と千葉市スポーツ振興財団との業務統合を検討する中で、合せて検討してきた。H31年4月1日の設立を目途に調整を進めている。」との答弁を得ました。今後のパラスポーツの発展にご注目下さい。

各政令市の障害者スポーツ指導者数と協会の有無(H26時点)

札幌	494	○	名古屋	411	○
仙台	319	○	京都	187	○
新潟	50		大阪	409	○
千葉	78		堺	71	
さいたま	135		神戸	338	○
横浜	579	指導者協議会	岡山	142	
川崎	169	指導者協議会	広島	146	○
相模原	76		北九州	244	○
静岡	98		福岡	296	○
浜松	78	○	熊本	-	



◆2020年「ボッチャ」の市民大会開催へ!

今や誰もが楽しめる、共生スポーツの代表例とも言われるボッチャ。千葉市でも、7月に本庁舎の1階に簡易コートが設置されました。また私自身も、地元のあるアスリート(県の指定強化選手)との出会いをきっかけに、遅ればせながらボッチャのファンになりつつあります。

そこで、更なる普及策について問うたところ、「2020年にボッチャの市民大会を開催することを検討している。今後、普及活動を関係機関と連携し進めていく。」との答弁を得ました。その他、市内140箇所で開催されているシニアリーダー体操に、ボッチャを組み込むことも提案しました。

◆その他の質問 高齢化社会への対応について

◆認知症対策の強化を!

公明党では、この4月から6月にかけて、介護、子育て、防災、中小企業など、5つのテーマ別に全国でアンケート調査活動を実施。私自身が行った介護に関するアンケート調査では、およそ140名の方に直接お話しを伺いました。将来不安についての設問で、実は最も回答が多かったのが「自らが認知症にかかった場合」との回答でありました。

国の推計値に照らし合わせると、千葉市では毎年3,000人以上が認知症を発症する推計となっており、対策は急務です。早期発見、予防トレーニング、本人・家族の視点を重視した施策の展開などについて、提案を交え質問しました。

◆「孤独」問題も...

「社会的なつながりを持つ人は、持たない人に比べて早期死亡リスクが50%低下する」「孤独のリスクは『一日たばこを15本吸うこと』や『アルコール依存症』に匹敵する」とは、昨今の専門機関による調査結果であります。

そこで、例えば「生活習慣病」という健康リスクがこれまで多くの人に認知されてきたように、「孤独」という問題のリスクや対処策を正しく啓発

することや、孤独そのものをなくしていく幅広い政策的取り組みが必要であると考え、問題提起しました。社会的孤立の防止や社会参加の促進は、今後ますます重要になってまいります。

